



アマチュアオーケストラ

新交響楽団 第249回演奏会

The New Symphony Orchestra – 249th Concert

指揮 **矢崎 彦太郎**
YAZAKI Hikotaro, conductor

メンデルスゾーン Felix MENDELSSOHN

交響曲第3番イ短調「スコットランド」1842年ロンドン稿
Symphony No. 3 "Scottish" in a minor, Op. 56, London Version, 1842

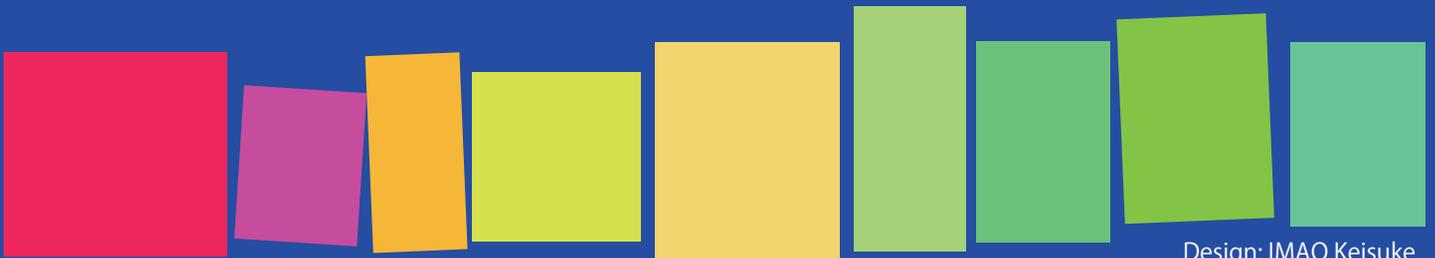
ドビュッシー Claude DEBUSSY

交響組曲「春」

Symphonic Suite "Printemps", 1887
(Orchestrated by Henri Büsser, 1908)

交響詩「海」

Symphonic Poem "La Mer" three symphonic sketches for orchestra, 1905



Design: IMAO Keisuke

池袋駅西口 Ikebukuro Station, West Exit

13:00 開場

2020年4月12日(日) 東京芸術劇場コンサートホール 14:00 開演

Sunday, April 12, 2020, 2:00pm (doors open at 1:00pm) at Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Hall

入場料 S席: ¥3,000 A席: ¥2,500 B席: ¥1,500 (全席指定)

88ペアチケット(お二人様で合計88歳以上のお客様は合計金額から1,000円を割引させていただきます。下記コンサートイメージのみ取り扱い)

チケットのお申し込み・お問い合わせ: コンサートイメージ 03(3235)3777 *10:00 ~ 18:00 (日曜・祝日を除く)

チケットのお申し込み: チケットぴあ: 0570(02)9999 <https://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス: 0570(010)296 *10:00 ~ 19:00 (休館日を除く)

(PC) <https://www.geigeki.jp/t/> (携帯) <https://www.geigeki.jp/i/t/>

*0570で始まる電話番号は一部携帯電話・PHS・IP電話では受付ができません。

*点字プログラムを若干部用意しております。入口でお渡しいたしますのでお申し付けください。

*おそれいりますが未就学児のご入場はお断りさせていただきます。託児サービスをご利用ください(予約制・詳細は裏面)。

新交響楽団のホームページ <http://www.shinkyō.com/> 演奏会案内や曲目の解説、これまでの活動記録などがご覧いただけます。

矢崎彦太郎＝新交響楽団 8 度目の共演

パリを拠点に世界的に活躍し、その理知的なタクトから豊かな色彩溢れる指揮者、矢崎彦太郎との共演は 8 回目となります。フランスの管弦楽作品を中心にプログラミングしてきましたが、今回はドビュッシーの代表作「海」を取り上げます。

ドビュッシーの 2 つの交響的な絵画

フランス印象派の作曲家であるドビュッシー(1862-1918)が、交響詩「海」を作曲したのは 1905 年。オペラ「ペレアスとメリザンド」が成功し、作曲家としての地位が確立された時期でもあります。「海上の夜明けから真昼まで」「波の戯れ」「風と海との対話」という 3 つの楽章からなり、海の情景が時間経過とともに描かれます。初版のスコアの表紙には、葛飾北斎の「富嶽三十六景」が使われました。

交響組曲「春」はドビュッシーがローマ大賞を獲得してローマに留学していた 1887 年に作曲されました。ボッティチェッリの名画「プリマヴェーラ(春)」から着想を得て作曲したと言われており、春の息吹や喜びが描かれています。残念ながら火災により楽譜が焼失したのですが、合唱とピアノの版は残っており、ドビュッシーの指示でリュッセルにより新たにオーケストレーションされました。

メンデルスゾーンの傑作「スコットランド」

ドイツロマン派の作曲家であるメンデルスゾーン(1809-1847)、ドイツのとても裕福で教育熱心な家に生まれ、音楽だけでなく絵画や文学、外国語にも堪能な神童でした。特に三大ヴァイオリン協奏曲の一つであるヴァイオリン協奏曲ホ短調や、結婚行進曲で知られる「真夏の夜の夢」は有名です。指揮者としてもライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団で多くの作曲家の作品を初演し、バッハの「マタイ受難曲」を蘇演するなど音楽界で大きな影響力を持っていました。

交響曲を 5 曲残していますが、出版順に番号が付けられ第 4 番と第 5 番はメンデルスゾーンの死後に出版されているため、第 3 番「スコットランド」が最後に作曲された交響曲です。メンデルスゾーンはイギリスを 10 回訪問し計 20 か月も滞在しましたが、スコットランドに旅行した際に訪れたエディンバラのホリールード宮殿に着想を得て作曲されました。1829 年に着手して全曲が完成したのが 1842 年。筆の速かったメンデルスゾーンが時間をかけた自信作で、美しい旋律と豊かな抒情性に溢れるこの曲はスコットランドの自然が浮かぶような魅力的な曲です。一般的に演奏されるのは 1843 年改訂版ですが、今回は 1842 年ロンドン稿を使用して演奏します。

メンデルスゾーンは脳出血により 38 歳の若さでこの世を去りました。一時はワーグナーが批判しナチス体制から演奏禁止とされましたが、近年再評価・研究され大作曲家として認知されています。

どうぞお楽しみに！(H.O.)

今後の演奏会予定

< 第 250 回演奏会 >

2020 年 7 月 12 日(日) 14 時 東京芸術劇場

指揮 飯守 泰次郎

曲目 ブルックナー/序曲、ブルックナー/「ヘルゴラント」(男声合唱 栗友会)、ブルックナー/交響曲第 9 番

< 第 251 回演奏会 >

2020 年 10 月 18 日(日) 14 時 東京芸術劇場

指揮 湯浅 卓雄

曲目 別宮 貞雄/交響曲第 1 番、ストラヴィンスキー/バレエ音楽「春の祭典」

新交響楽団のプロフィール

新交響楽団は 1956 年に創立されたアマチュアオーケストラです。音楽監督・芥川也寸志(1925-89)の指導のもとに旧ソ連演奏旅行、ストラヴィンスキー・バレエ三部作一挙上演、10 年におよぶ日本の交響作品展(1976 年にサントリー音楽賞を受賞)、ショスタコーヴィチ交響曲第 4 番日本初演など意欲的な活動を行ってきました。

またマーラーの交響曲全曲シリーズ(山田一雄指揮、1979-90)、ベルリン芸術週間への招聘・邦人作品演奏(石井眞木指揮、1993)、伊福部昭米寿記念演奏会(2002)、石井眞木遺作「幻影と死」完全版初演(高関健指揮、2004)、ワーグナー「トリスタンとイゾルデ」演奏会形式公演(飯守泰次郎指揮、2006)など、幅広い活動を積極的に展開しています。

維持会のご案内 ～良いお席を安く～

新交響楽団維持会は、新響の演奏活動にご賛同いただき支援して下さる方々の組織です。集まった会費は、楽器購入や演奏企画に活用しています。会費は一口 10,000 円で、2 年間有効の 5 枚綴りの回数券(どの演奏会でも一度に何枚でも使用可能)を差し上げます。良い S 席を優先的に確保いたしますので当日その中からお選びいただけます。お申込みは郵便振替にて直接会費をお振込みください。郵便振替口座:00130-0-28074「新交響楽団維持会」

団員を募集しています

音楽監督の故芥川也寸志が長年にわたって主張し続けてきた「音楽はみんなのもの」を実践し、常に新しい視点を持って活動していくために、新しい力が必要です。何はともあれ、ぜひ一度練習をご覧ください。見学・オーディション等のお問い合わせは E-mail:shinky@music.nifty.jp

練習は毎週土曜日午後 6 時～9 時、東京芸術劇場(池袋)、クラシック・スペース☆100(大久保)他にて。

演奏会当日の託児サービスのご案内

東京芸術劇場でのご鑑賞の際には、施設内の託児室をご利用いただけます。土日祝日を除く公演日一週間前までにご予約ください。3 ヶ月～1 歳 2,560 円、2 歳～6 歳児 2,160 円。お申込み・お問合せ:HITOWA キャリアサポート株式会社わらべうた 電話 0120-415-306(平日 9:00～17:00、土日祝日休み)